



## JAM 組合員の声が届く

## JAM九州・山口、ボッシュ労組、旭テックメタル労組の声が質問に！！

ご安全に。参議院議員の村田享子です。11/9（木）に行われた参議院経済産業委員会での質問で、「価格転嫁の促進に向けて」と「食事手当」について、JAM組合員の皆様から寄せられた声を質問として政府へぶつけました。「価格転嫁の促進」については、政府として前向きな発言がありました。「食事手当」については議論がかみ合わなかったのですが、政府に対して対応を求めました。

西村経産相 労務費の価格転嫁に向けた指針 年内策定を明言。

質問内容	答弁者名	答弁内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>JAM九州・山口の皆さんの声として、政府の支援策のおかげで原材料の価格転嫁は交渉に乗るようになった。だが、<u>エネルギー費、労務費の価格転嫁が全くできていないという声が多い。</u></li> <li>原材料の価格転嫁はデータで示せるが、エネルギー費、労務費については、会社の内部事情を提示するため、発注元から逆にコストカットの要求をされる。交渉することが難しい。</li> <li>中小企業では、労務費やエネルギー費の価格転嫁の資料作成の手間がかかる。</li> <li>春闘前に、価格交渉に関する指針の周知をして欲しい。併せて、<u>価格転嫁は会社の購買部への周知も大切</u>なので、ぜひ行って欲しい。</li> </ul>	西村康稔 経済産業大臣	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>賃上げには、価格転嫁をしっかりと実現していくことが重要</u>だと認識している。政府を挙げて、これからも取り組む。</li> <li>全体の価格転嫁率は、47%、<u>労務費は約37%。エネルギー費は、35%。全体に比べて10%程度も低い。</u></li> <li>現場経営者からは、エネルギー費は、過去の支払い実績に応じて、事後的に上限があるが、追加料金を支払ってくれるようになった。賃上げ費用については、経営努力で効率化し対応すべきとの声を聞いている。</li> <li><u>全国よろず支援拠点</u>において、<u>価格転嫁サポート窓口</u>を設置し、<u>原価計算手法の取得を支援</u>している。</li> <li>労務費の適切な転嫁のための<u>価格交渉に関する指針</u>を<u>内閣官房、公正取引委員会</u>において<u>年内に策定</u>する。</li> </ul>

食事手当は中小企業支援につながる ボッシュ労組、旭テックメタル労組の声を届ける

質問内容	答弁者名	答弁内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>物価が上昇している中で、労組が食事補助増額を要求しても、<u>非課税限度額が昭和59年から変わらず月3,500円</u>であり、実現しない実態がある。</li> <li>政府は、現在の物価上昇は、昭和59年と比較すると軽度と言うが、賃上げが進んでいない事も配慮すべきである。</li> <li><u>食事手当は、大企業だけではない。中小企業支援にもなる</u>ので、ぜひ増額を！</li> </ul>	田原芳幸 国税庁幹部	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事手当の非課税限度額は、食事物価や支給実態等、総合的に考えて判断する。</li> <li>前回の昭和59年は、前々回と比較して、52%物価が上昇しているから改定した。</li> <li>昭和59年と比較して、消費税導入と税率引き上げの影響を除き、物価上昇率は約16%程度にとどまっている。</li> <li>食事手当は大企業など一部にとどまっている。</li> </ul>

◇◆村田きょうこファンミーティングお知らせ◆◇  
2023年11月27日（月）12:15~12:35  
活動報告や皆様からの質問にお答えします！！  
※詳細は別途発行済の告知チラシをご確認ください。



◇◆今回の質問の動画◆◇

←価格転嫁質問動画  
食事手当質問動画→

